

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：伊根町

重点目標	地域資源を活かした、活力ある産業・地域づくり		
	事業群	構成事業名	
生業として成り立つ農林水産業の追求		林道通行者安全性確保対策事業	
		有害鳥獣防除施設設置事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>平成12年の国勢調査によると、伊根町の産業別就業人口は、第1次産業25.1%、第2次産業18.3%、第3次産業56.6%で、第1次産業の割合は府内第2位と高い割合を示しており、本町における基幹産業は農林水産業である。</p> <p>しかし、高齢化、担い手不足、有害鳥獣被害により産業活力が低下しており、将来へ継続していける農林水産業の新たな枠組みの確立が求められている。農業分野においては、平成14年度から15年度にかけて自己保全管理（不作付けによる管理）が大幅に増加（18.2ha→27.3ha）し、荒廃が懸念されており、平成17年度は28.1ha、平成18年度は28.3ha、平成19年度は26.2haと減少傾向にある。従来の調査は農業振興区域に限定した調査であったため、平成20年度において調査範囲を農業振興区域外にも広げた結果、町内の耕作放棄地は35.7haに上ることが判明した。耕作放棄地は、有害鳥獣被害の拡大にも繋がることから今後も耕作放棄地の減少及び有害鳥獣防除にむけた取組みが必要である。</p> <p>農林水産業の振興と併せ、今後さらに農林水産業と観光産業を連携させ、総合的に「生業とした成り立つ農林水産業」、「地産地消」の推進を行う。</p>		
	※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。		
	成果指標		実績値
指標式等			

（記載要領）

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。